



東日暮里幼稚園だより

荒川区立東日暮里幼稚園
／ 荒川区立第三日暮里小学校併設園

発行日 令和3年11月1日

発行者 園長 末永 寿宣

11月号

コーディネーショントレーニング地域拠点校 ～心と身体を動かしながら、遊びや生活に意欲的に取り組む 幼児の育成を目指して～

園長 末永 寿宣

今年度は、東京都教育委員会の研究指定を受け、コーディネーショントレーニング※（以下、COT）の要素を遊びに取り入れる形で日常化を目指してきました。令和元年度から取り組んでいるこの研究では、子どもたちの体力向上とコミュニケーション能力の向上が目標です。

心と身体の成長

遊びや行事の中で、自立心、協調性、社会生活との関わり、思考力の芽生えなど、本園が目標とする姿が育まれています。また、リズム遊びや体操を覚えるのが早くなったり、大きな遊具を使う時に、怪我をすることがなくなったりするなど、新しいことに対する集中力が向上しています。

※コーディネーショントレーニングとは

体力・運動能力の向上のみならず情動面の安定や改善、認知能力やコミュニケーション能力、集団参加や自己統制など社会生活能力の向上にも注目をされているトレーニング法です。

COT に挑戦



友だちとぶつからないようにタッチしたり、先生につかまらないように駆け抜けたります。「なんだろう？」「やってみよう！」「おもしろい！」と生き生きと体を動かしています。長座立ちの上下運動で怪我の予防にも努めています。

先生も子どもたちと一緒に、体を動かして楽しさを共有しながら、講師の先生からご指導をいただき、翌日の指導に生かしています。



研究保育を通して



広い場所で伝え合いのきっかけを作ったり、環境を通した関わりを探ったりして、コロナ禍でも交流の機会を工夫して作っています。また、クラス内での取り組み方や工夫を学び合い、協議を深め、他のクラスの保育にも生かすようにしています。

5歳児すみれ組が、「ちょっと先生」となって、3歳児もも組と二人組になり、スラロームを走ったり、前に出て手本になったりして、触れ合いながらCOTを伝えています。

また、COTを取り入れた遊びの場を残しておく、他学年が自分たちで遊具を遊びに取り入れる姿が見られるようになりました。

更なる日常化へ



週1回以上を目安にCOTを保育に取り入れていきます。COTの時間として特設するのではなく、集合時の集中を促したり、活動前の準備体操として「ちょっと（ちょCOT=短時間でのCOT）」を多く重ねていくようにしたりしています。

具体的には、活動の合間に取り入れること、日ごろ親しんでいる「ごっこ遊び」と合わせることで、好きな遊びの一部として組み込むこと、集団遊びに用具を取り入れて取り組むことなど、特別に設定するのではなく、今までの保育の中に、COTの要素を短時間でも取り入れることで、更なる日常化を図っています。



本園では、今後も子どもたちが、遊びや生活に意欲的に取り組むことができる保育の充実を目指してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。